

令和6年8月 市長定例記者会見

令和6年8月1日(木)

午後1時30分 開始

【広報広聴課長】 それでは定刻となりましたので、ただいまから定例記者会見を始めさせていただきます。

【市長】 皆さん、こんにちは。敦賀は本当に今暑くて、少し梅雨っぽかったのも明けた感じがありますけれども、敦賀は夏ということで、7月13日には気比の松原海水浴場で海開きが行われて、その当日はもう既に海水浴客の方がたくさんいらっしゃったということで、にぎわっていたと思います。8月16日には第75回のとうろう流しと大花火大会が開催されますけれども、中止が続いていたので無事開催できれば6年ぶりの開催ということになります。最近の花火、質と量の話もありますけれども、数で言えば約1万発の花火を打ち上げて夏の夜空を彩るということです。

今年度から、天気が荒れたときは今まで中止にしていたましたが、今回、延期という形を取るということで、延期した場合は花火のみ24日に開催されるということにいたします。そのため、もし延期、16日の天気悪かったとしても24日ということで、皆さんに楽しんでいただけるようにしたいと思っています。

今年の夏はちょうど北陸新幹線が開業して初めての夏ということになりますので、敦賀の夏を皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思っています。

本当に厳しい暑さが続いております。敦賀のほうでも熱中症警戒アラートを何度も発表しておりますので、体調には十分気をつけながら敦賀の夏を楽しんでいただけたらと思っています。

【広報広聴課長】 続きまして、事業発表に移ります。

1項目、令和6年度敦賀まつりの開催について、お願いいたします。

【市長】 9月に入ると敦賀まつりがあります。今年は9月1日の日曜日から4日の水曜日までの4日間。去年は3日間だったんですけれども、今年は4日間。敦賀まつり振興協議会が主催ということで開催をいたします。

今年度の敦賀まつりは、北陸新幹線敦賀開業を迎えた初めての初年度のお祭りということになりますので、通常の企画に加えまして新幹線関係のイベントも計画をしています。

敦賀まつりは、我々にとってはすごく、敦賀市民にとっては大事なお祭りですし、こういった伝統行事を次の世代につなげていきたいという思いがあります。また北陸新幹線敦

賀開業を契機として、市内のみならず市外、県外からも敦賀まつりにお越しいただけるように発信したいと思っています。

各行事の詳細は、今事務局でまだ調整をしているというものもあります。それらが固まって祭りの直前になるかもしれませんが、改めて報道機関の皆様には案内をさせていただきたいと思います。

本当に我々にとっては大事な、この祭りで夏が終わって秋の訪れを感じるという祭りですし、また市民総参加でつくっていく祭りだと思っておりますので、たくさんの市民の方にもご参加いただけるように我々も準備を整えていきたいと思っています。

【広報広聴課長】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問をお受けいたします。

最初に幹事社さんからお願いいたします。

【記者】 敦賀まつりは今年、新幹線が開業してからは初めてということで、改めて意気込みというか、開業したからこそ、こういうところを楽しんでもらいたいというようなところがありましたらお願いします。

【市長】 昨年からも北陸新幹線の沿線の市町と連携してイベントや企画を幾つかやってきているんですけれども、今回も予定では9月1日に北陸新幹線沿線市町からそれぞれの市町のご当地アーティストに来ていただいて、ステージで音楽イベント、それから観光物産を計画しています。

詳しいことは、先ほど申し上げたとおり今練っているところですので、固まったらまた皆さんと情報を共有したいと思っています。そのような形で新幹線沿線とも協力しながら祭りをやっていけたらと思っています。

【記者】 敦賀まつりについて、来てもらう方にどのように楽しんでもらいたいかという思いをお願いします。

【市長】 これは敦賀市民にとっては大事な祭りで、敦賀まつりという言い方をしたり、けいさん祭りという言い方をしたりということで、私も子どもの頃からずっと楽しみにしている祭りで、いろんな山車だったりとか、神輿だったりとか、魅力的な祭りだと思っているので、これを機会に市民だけでなく、市民はもちろん我々も盛り上げて楽しむんですけれども、こういう祭りがあるということを北陸新幹線沿線の人たちにも知っていただけたらと思っています。そして、これを機会に来ていただけたらと思っています。

先ほど花火大会の話もしましたが、花火大会や敦賀まつりが、県内、市外の方が

来られるようないい機会になればと思っています。

【広報広聴課長】 それでは次に、各社よりお願いいたします。

【記者】 新幹線になって初めての祭りということで、人出の予想や、何人ぐらい来てもらえるかなどは。

【市長】 難しい質問ですね。何か数字の予想はありますか。担当のほうから。

【商工貿易振興課】 昨年の実績が約16万人というところでした。ただ、今回に関しましては、昨年よりも平日の開催が多いというところで、大体同等程度ということで予想しているところがございます。

【市長】 昨年は少し予想より多いぐらい来ていただいていたしまして、ひまわりもよく、天気もよかったということがあり、人出が大変多かったです。どうしても、ひまわりだったりと天気によって左右されるところはあるんですけども、今回4日間で昨年同等ということで16万人が目安かなと思っているということです。

【広報広聴課長】 それでは次に、2項目めでございます。帆船海王丸の寄港について、お願いいたします。

【市長】 帆船の海王丸です。帆船海王丸、昨年は日本丸という船が24年ぶりに来ましたよということで、結構好評で、市内外から3,900人の方々に敦賀港にお越しいただいたというところです。

今年は、私の読み原稿には「何と昨年に引き続き」と、「何と」という言葉が入っているんですけども、今年も帆船が敦賀港に寄港して一般公開イベントを実施いたします。

今年は海王丸という船がやってきます。海王丸も敦賀に寄港するのは26年ぶりの2回目ということです。

先ほど「何と」という言い方をしたんですけども、これ何かというと、2年連続で帆船が寄港するというケースは国内でもあまり例がないということで、大変珍しいと聞いています。昨年やってよかったと思うのは、本当にいろんな方に敦賀の港を実際見ていただいたということです。今回も大勢の方に敦賀港に足を運んでいただけたらと思っています。

昨年、結構暑かったんですね。昨年もお盆中に来ていて、3,900人来ていただいたんですけど結構暑かったです。そこに行列をつくって一般公開だったということがありました。今回も多分暑くなるだろうということで、熱中症の対策としまして、受付会場、待合場所を市民文化センターにしました。受付、それから待合の場所をこちらの文化センターにしております。

実際に入港しているのは、停まるのは川崎・松栄岸壁のほうなんですけれども、この会場へは、受付会場となる市民文化センターからシャトルバスを出してアクセスすることにしております。歩行者、一般車両でのアクセスはできません。こちらで受付していただく必要があるので、まずは文化センターのほうに来ていただくということで、ご注意いただきたいと思います。

詳細については、敦賀市のホームページに掲載しておりますので、そちらを御覧いただきたいと思います。

【広報広聴課長】 それでは、ただいま発表いたしました項目につきまして質問をお受けいたします。

【記者】 今回、海王丸が敦賀に寄港する主な目的を教えてくださいませんか。

【市長】 経緯で申し上げますと、昨年8月に日本丸が来て大変好評でした。11月16日に大阪のほうで福井県企業立地・港セミナーが開催されまして、そのときに私もそこへ出向いてプレゼンテーションなどをしたんですけれども、この帆船を所有する海技教育機構の田島理事長がいらっしゃって、そのときに敦賀で大変好評でしたよということ。それからこれが入ってくることによって、市民や市外の方も港のほうに足を運んでもらえる。鞠山南などが町から遠いところにあたりるので、昔と違って港との距離感が、気持的に少し、昔に比べてあるのかなと感じていたんですが、帆船が来て港に人が来ていただくといういい機会だったということを理事長にお話しました。

そうしたところ、今年度、令和6年にも帆船、敦賀に呼んでいただけませんか、誘致しませんかという打診もありましたので、調整をして、日本丸ではなくて今回は海王丸ということで敦賀に来ていただくことが実現したという経緯です。

我々としては、こうして帆船、昨年は日本丸、今年は海王丸が来ることによって、敦賀が港のまちだということを市内外の人により知っていただく、それから市内の人には港により親しんでいただくという形になればいいなと思っています。

【広報広聴課長】 それでは次に、各社よりお願いいたします。

【記者】 今回、富山に展示されているんですかね、海王丸。ルートの的には富山から直接、敦賀に入るという形なのでしょうか。

【商工貿易振興課】 富山に常設してあるのは初代海王丸になります。初代海王丸は現役を退いて富山に常設係留されているんですけども、今回来る海王丸は現役の実習船として使われている2代目の海王丸になります。

【市長】 敦賀に来る前は、ルートは分かっていたか。

【商工貿易振興課】 把握はできてないんですけども、敦賀の後は函館に行くということを知っていました。また調べておきます。

【広報広聴課長】 それでは次に、フリーの質問対応に移りたいと思います。

初めに、幹事社さんからお願いいたします。

【記者】 9月16日で新幹線開業から半年ということになりまして、1か月早いんですけども、ここまで、3か月のときとかもお伺いしたんですけども、さらに夏休みシーズンにも足を踏み入れてきてまして、市長として開業の効果であるとか、人の流れや物の流れなどの効果について、どのように考えていらっしゃるか教えていただけますでしょうか。

【市長】 半年弱ということですけども、今のところ本当に順調に推移していると思っています。

その意味は、新幹線で来ていただく人ももちろん増えていきますし、新幹線開業ということで敦賀の認知度、福井県の認知度が高まったということで、車で来ていただく方も増えていきます。実際市内の施設については1.5倍ぐらいずっと推移していますよということはこの前申し上げたかと思うんですけども、そのような形で半年たっても継続してやれていると思っています。

加えて、例えばそれを受け入れる市内の民間の業者さん、例えば飲食業も、出店とか、あるいは店舗を改装して受け入れ体制を民間としても強化していくんだと、広がっていくんだという動きもまだ継続していますし、そのような意味ではこの半年間はすごく順調に來たと思っています。

一方で、課題というのも特に駅周りで見えてきているところがあります。やはり人の流れ、動線とかも駅周辺、あるいは駅の構内で分かってきたということもあります。今後JRさんと協議すべきことがあれば協議しながら、より利便性の高い、それから開業効果を最大限にできるような取り組みをしていかなければいけないと思っています。

【記者】 関連しまして、敦賀の場合は特にこれまでと変わっているというところはないかと思うんですけども、新幹線開業で福井方面がハピラインに移管されて、サンダーバードは敦賀止まりになったことの影響というのは、例えば福井駅だったら乗り換えが必要になったから、サンダーバードをこれまで使っていた人にとっては乗り換えが必要になったというマイナスの面もあるかと思うんですけども、敦賀の場合はそういったことがな

い中で、何か変わったことだったり、プラスないしマイナスの影響というのは感じられていますでしょうか。

【市長】 特にマイナスの影響というのは正直感じてないですね。プラスの影響については、まだ評価がそこまでできないなど。敦賀は京阪神、中京方面から車で来られる方がもともと多いというのがあったので影響は受けにくい。逆にそれがプラスにできるかどうかというのは今後の取り組みと思っています。

例えばで言うと、車で来にくくなる冬場に人の動きがどうなるのか。例えば敦賀で降りて敦賀の周辺で観光するとか、そのようになるのか、それとも今までどおり変わらずなのかというのは、これから見ていかないといけないと思います。

敦賀で降りてもらって、その分、敦賀から北に行く人が減るのではないかなというようにことがあるかもしれませんが、今回、北陸全体で誘客を増やすという中で、全体として増える、敦賀のほうもそのような形で増える部分があるという方向に持っていきたいと思っています。

【記者】 先ほど新幹線開業半年ということで、順調に推移しているというところが述べられたと思うんですけども、これからの課題といたしますか、まちづくりの課題として、西口のまちのほうと東口のほう、まちづくりでどのようにしていきたいという課題や、やっていきたいことなどありましたら、お願いします。

【市長】 まちづくりということで言うと、当面、目の前のターゲットとしてあるのが金ケ崎周辺の整備です。これはここ数年の大きい取り組むべきことになってくると思います。

その次に、それと並行して商店街関連は引き続きやっていきます。

その次ぐらいに来るのが、もう既に敦賀まちづくり協議会でも、分科会の中でも協議していただいている氣比神宮周り、分科会自体は氣比の杜分科会というような名前でやっていますけれども、氣比神宮、要は旧北小学校を中心としたエリアが、次のエリアとしてのターゲットになってくると思っています。

何年かたつ中で、東口というのも議論をしていくことになるのかなと思っています。

ただ、金ケ崎や、あるいは北小学校と違うのは、東口というのはほとんどが民間の土地だったりしますので、そこについては所有者のご意向とかもあるので、慎重に意見集約をしていきたいと思っています。

それらをすぐやったら、という話もあるかもしれないんですけども、例えば金ケ崎があつたり、それから旧北小のエリアがあつたり、そして東口があつたりということを考え

ると、例えば人やお金など、リソースの問題があるので、全部が全部に一遍にやるというのもなかなか難しいです。思いとしては、計画的にそのようなことをリソースにも気を配りながらやっていくべきなのかなと思っています。

【広報広聴課長】 それでは、以上をもちまして市長定例記者会見を終了いたします。

次に一般事業発表に移りますので、市長はここで退席をさせていただきます。

【市長】 ありがとうございました。

13時55分終了